

令和四年広島県支部春季俳句大会成績（通信）

令和四年五月

特別選者

加古宗也選

特選 野火猛る煙の渦を解くやうに 原田 妙子

虎杖やふるさとといふよりどころ 川手 和枝

茎立や笑ひ上戸の子だくさん 河野 由美

並選 ゆっくりと翅振り蝶の交尾かな 川口眞佐子

卒業や父が磨いてくれし靴 山口 美智

かつて龍馬踏みし雁木や囀れり 藤井 彰二

木の家のどこかが鳴りて雪つづく 槇原シゲ子

なに探す春の雀の横歩き 平地美代子

陽炎のゆさぶりやまぬ爆心地 木村 幸枝

涼しさや竹人形の竹の髪 尾熊 靖子

指名選者（選者五十音順）

飯野幸雄 特選 入学や吾子に新たなつばさ生ゆ 富吉みちる

石橋康徳 特選 スキップの靴の真つ新入学児 豊川 操

石本百合子 特選 寒灯のひとつ煌めく廃高炉 下田あつ子

大上充子 特選 春雷やぴくりと動くややの指 高卯 石男

郷坪敏幸 特選 吾のころ今は何いろ春の虹 梶川 仙子

新野義弘 特選 葱坊主子らのじゃんけん高らかに 泉本 浩子

鈴木厚子 特選 茎立や笑ひ上戸の子だくさん 河野 由美

田村祐巳子 特選 たんぽぽの丈に屈みて絮とぼす 濱本美智子

永井由紀子 特選 リュックには妊婦のバッヂ初桜 松本 直美

浜田千代美 特選 リュックには妊婦のバッヂ初桜 松本 直美

特選 リュックには妊婦のバッヂ初桜 松本 直美

水口佳子

特選 ふらここの漕ぎ出しのやや斜めなる

藤本智恵子

矢野真緋子

特選 田を捨てし人も覗きに農具市

田村祐巳子

安田ゆき

特選 きのふけふあしたのさくらさくらかな

田中 治子

山口美智

特選 花曇り湯呑みに残るくすりの香

若本 鴻遊

吉原文音

特選 伝道者来ること庭に囀れり

山崎 英治

互選高得点句（得点数順）

2 4 春雷やびくりと動くややの指

高卯 石男

2 2 初音して里山の黙解き放つ

高下なおこ

2 2 田を捨てし人も覗きに農具市

田村祐巳子

2 1 卒業や父が磨いてくれし靴

山口 美智

2 0 春愁の色もつれあふ刺繍糸

浅田 洋子

2 0 蕎麦打ちのできて山の子卒業す

藤谷 知子

1 7 アルバムは時の重さよ鳥雲に

石本百合子

1 6 すみれ草大きな靴が来て止る

野間しげる

1 4 校歌には郷土の山河暖かし

池田 萩邨

1 3 桜東風天守普請の槌の音

小林 洋子

1 3 寒灯のひとつ煌めく廃高炉

下田あつ子

1 3 象の尾はメトロノームや春の風

田島久美子

1 3 来賓の囲む卒業生ひとり

石津 裕美

1 3 涼しさや竹人形に竹の髪

尾熊 靖子

1 2 春愁やどこへも行かぬ夫とゐて

山口ひろ女

1 2 終の居のここがまほろば春の月

柴田南海子

1 1 きのふけふあしたのさくらさくらかな

田中 治子

1 1 人の影木の影映し水の春

郷坪 敏幸

1 1 けん玉の膝やわらかき春の昼

小原 桂子

1 1 まんさくの空の青さや牛生まる

藤谷 知子

1 1 浅蜷掘るはるかな空を軍用機

小川 誉子

1 1 リハビリの杖春風について行く

渡里トモ枝

1 1 廃線の先の生家や初幟

大久保信子

1 1 初蝶や空に歪みのあるらしく

伊丹 典恵

